



居宅療養支援診療所

北坂戸ファミリークリニック

第3回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー

2017年1月19日 坂戸中央公民館で「第3回北坂戸ファミリークリニック 地域連携セミナー」を開催いたしました。

当院の橋本正良先生に『高齢者虐待』について講演いただきました。

今回のセミナーでは20名近くの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

セミナーでは、橋本先生より虐待の起こりやすい家族構成、虐待の種類についてお話しいただき、また、いくつかの症例を紹介いただきました。近年ネグレクトや、暴力等による虐待が問題視されている中で、在宅医療・介護では、どのように対応、対策すればよいか等を皆さんで検討していけるようグループワークを実施し、高齢者虐待の症例について話し合ってくださいました。様々な症例があり、その対応、対策等について次回の講演で皆様とまた話し合っていく予定です。講演終了後のアンケートでは、グループワークに関するコメントを多数いただいております、大変好評いただきました。

他職種の方とお話しする機会があまりない中で、こういったグループワークでのコミュニケーションは今後の地域連携に役立てるのではと考えています。また、その結果、患者さんにより充実した、サービスを提供できると考えています。次回は3月の中旬に予定しておりますので、今回参加されなかった方も是非ご参加お待ちしております。

アンケートの声ご紹介

セミナーに参加していただいた方の声を一部ご紹介させていただきます。

- ① こういうこともあるのかと、とても勉強になりました。次回もまた、参加させていただきたいと思います。
- ② 緊張しますが、いろいろな方と話す、話を聞いたことは良い経験になりました。
- ③ 他職種の方とはなせるので、勉強になります。
- ④ 県の実施指導の際「虐待」についての研修はなるべく受けるよう指示があり、近くでやっているところが少ないので、助かります。
- ⑤ 虐待の判断基準、介入の仕方が難しいと思いますので、そのことを学びたい。
- ⑥ 今後、虐待の問題が多くなると思います。原因が明確になることで予防できることもできるのではないかと感じました。



橋本 正良 先生
当クリニック木曜日担当

※この他にもたくさんのご意見、ご感想をいただき有難うございました。
皆様のご意見を参考により充実した講習会になるよう一層努めてまいります。

新しく勤務する医師の紹介



北坂戸ファミリークリニック
医師
廣岡 伸隆先生

はじめまして。廣岡 伸隆と申します。

専門は家庭医療と総合診療という、子供から高齢者まで、どんな場所でもできることをお手伝いするという科です。

皆様の、病気だけでなく気持ちや環境も大切にすることをモットーに診療に当たります。

- ・日本内科学会認定医・指導医
- ・日本内科学会総合内科専門医
- ・日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
- ・日本病院総合診療医学会認定医
- ・DABFM米国家家庭医療学会専門医
- ・FAAFP米国家家庭医療学会上級会員

★お役立ち情報★ ～冬のスキンケア 皮膚病のケア・予防～

（冬の皮膚病について）

冬に多い皮膚病には、気温の低さに伴うもの、乾燥に伴うものがあります。気温に伴うものとして主に、しもやけ、網状皮斑、レイノー症がありますが、これらは末梢の循環障害に基づく症状ですがこれは、内科的な疾患に伴うものもありますので、検査等を行い原因の解明が必要になります。

そして乾燥に伴う皮膚症状ですが、これは冬に多く見られ、多くの人がこの皮膚の乾燥疾患に悩まされています。冬の時期多くみられるものとして、老年性皮膚掻痒症、乾皮症、乾燥湿疹が挙げられます。空気の乾燥とともに皮膚表面が乾燥し、特に下腿、腰の部分を中心に痒みと掻破に伴う湿疹が目立つようになる状態で、ナイロンタオルの使用、石鹸の使い過ぎは状態を悪化させます。

主婦に多い手湿疹ですが、洗剤の使用等で皮膚の表面の脂質が取り除かれたり、角質が変性したりして、手の皮膚はほとんど吸湿性を示さなくなります。この状態が繰り返されることで、皮膚の乾燥、炎症が進行していきます。このほか、冬に悪化するものとして、小児の乾皮症、アトピー性皮膚炎などが挙げられます。皮膚の症状の悪化は、皮膚の乾燥がもとで2次的に湿疹をおこしてくるもので、一度湿疹が見られればステロイド系の概要で症状を抑えなければなりません。症状が治まれば、再発を防ぐために予防が大事になってきます。

（予防、スキンケア）

生活習慣の中での予防としては、加湿器で湿度を50%に保つことが重要です。痒いからとボリボリ掻くことや、お風呂の際ナイロン製のタオルでゴシゴシ洗うことは避けなければなりません。

スキンケアは主に、皮膚科ではワセリン、尿素、ヘパリノイド含有のヒルロイドを使用します。個人の好みで使用して構いません。また、薬局などで売られているものについても大きく差はありませんので、症状が軽度の方は、薬局で購入されてもいいかもしれません。ただし、症状がよくならない場合や、症状が重い方については皮膚科の受診をしてください。

冬の乾燥肌には、スキンケアが重要になってきますので、まだまだ寒い日が続きますが、十分ケアをおこなってください。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。

地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

北坂戸ファミリークリニック 〒350-0229 埼玉県坂戸市薬師町3-2 TEL:049-280-8080 FAX:049-210-3812